

ティエンザン省ミータイナム村第1小学校第9集落分校建設計画・引渡し式典

2014年6月12日

2014年6月10日（火）、日本政府による対ベトナム草の根・人間の安全保障無償資金協力「ティエンザン省ミータイナム村第1小学校第9集落分校建設計画」（2012年度実施）の引渡し式典が、矢ヶ部義則・在ホーチミン日本国総領事館首席領事、カイライ県人民委員会リー・ヴァン・カム副委員長、カイライ県教育訓練室ゴー・ミン・チュン室長、ミータイナム村人民委員会グエン・ヴァン・ザン副会長、ミータイナム村第1小学校グエン・ヴァン・タン校長出席の下、ミータイナム村第1小学校第9集落分校（被供与団体）において執り行われました。

ミータイナム村第1小学校第9集落分校は、同区域の生徒約200名が勉強するための重要な教育機関です。しかし、旧校舎は老朽化が著しい上、3教室しかなかったため、同分校に小学1年生から3年生のみが通い、4年生と5年生は3km離れた本校に遠距離通学をしていました。また、幼稚園児は近隣の民家を間借りして勉強しており、その上、校舎周辺の敷地は未舗装で水捌けが悪く、生徒が運動できる場所がないという状況でした。本件では約118,835米ドルの資金協力を通じて、ミータイナム村第1小学校第9集落分校に、6教室を有する2階建の校舎、トイレを建設するとともに、校庭を整地し、排水溝を整備しました。

式典において、矢ヶ部義則首席領事は、「本件により、同校の教職員及び生徒の皆様へ安全で快適な教育環境を提供することができれば幸いです。」と述べました。これに対し、チュン室長は、「地元政府、地元住民、教育機関を代表し、6教室を有する校舎建設などを支援して下さった日本政府及び在ホーチミン日本国総領事館に心よりお礼申し上げます。私たちは日常的な管理と改修、学校までの道路のコンクリート舗装や橋の建設に取り組み、教育の質の向上に努め、案件の効果を発揮させることを約束します。」と感謝の意を表明しました。



生徒による歓迎公演



テープカットの様子



本件で整備された6教室を有する校舎



本件新校舎の教室